

2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(非連結)

2024年10月29日

上場会社名 日本デコラックス株式会社
コード番号 7950 URL <https://www.decoluxe.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
半期報告書提出予定日 2024年11月7日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

(氏名) 木村 重夫
(氏名) 近藤 直也
TEL 0587-93-2411
配当支払開始予定日 2024年12月3日

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 中間純利益 | |
|-------------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期中間期 | 3,028 | 1.7 | 318 | 6.8 | 346 | 0.4 | 239 | 0.5 |
| 2024年3月期中間期 | 3,080 | 23.3 | 342 | 93.3 | 348 | 33.2 | 240 | 38.7 |

| | 1株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり中間純利益 |
|-------------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期中間期 | 302.44 | |
| 2024年3月期中間期 | 303.90 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年3月期中間期 | 17,777 | 15,620 | 87.9 |
| 2024年3月期 | 17,929 | 15,595 | 87.0 |

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 15,620百万円 2024年3月期 15,595百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | | 150.00 | | 220.00 | 370.00 |
| 2025年3月期 | | 150.00 | | | |
| 2025年3月期(予想) | | | | 220.00 | 370.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|-----|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 6,300 | 0.3 | 600 | 13.1 | 660 | 8.3 | 450 | 14.0 | 567.87 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. 中間財務諸表及び主な注記(3) 中間財務諸表に関する注記事項(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

| | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 有 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. 中間財務諸表及び主な注記(3) 中間財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-------------|-----------|-------------|-----------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2025年3月期中間期 | 893,000 株 | 2024年3月期 | 893,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2025年3月期中間期 | 100,572 株 | 2024年3月期 | 100,572 株 |
| 期中平均株式数(中間期) | 2025年3月期中間期 | 792,428 株 | 2024年3月期中間期 | 792,439 株 |

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当中間期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当中間期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 中間財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 中間貸借対照表 | 3 |
| (2) 中間損益計算書 | 4 |
| (3) 中間財務諸表に関する注記事項 | 5 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 5 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 5 |
| (中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) | 5 |
| (会計方針の変更に関する注記) | 5 |
| 3. 補足情報 | 6 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善により、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、原材料価格の高止まりや、為替変動による物価上昇及び地政学リスクの高まり等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社のセグメント別の業績は、以下の通りとなりました。

<建築材料事業>

高圧メラミン化粧板は、在宅勤務からオフィス回帰の動きがあり、オフィス家具の需要が回復基調になったものの、物件減少によりトイレブース市場及び店舗市場向けの需要が減少したことにより、売上が減少しました。

不燃メラミン化粧板は、原材料等の価格高騰の一部を販売価格に転嫁したものの、資材価格の高騰による新築住宅の着工件数及び住宅のキッチンリフォーム工事件数が減少したことにより、売上が減少しました。

その結果、化粧板製品の売上高は2,066百万円（前年同中間期比95.8%）となりました。

電子部品業界向け製品は、産業機器、パソコン及びスマートフォン向け等の需要が減少したものの、自動車の半導体不足や部品調達の遅れが解消傾向となり、車載関連の需要が一部回復したことにより、売上が増加しました。

その結果、電子部品業界向け製品の売上高は383百万円（前年同中間期比109.0%）となりました。

ケミカルアンカー製品は、建設コストの上昇傾向が継続しているものの、競合他社からの切替え及び建築分野での物件採用件数増加により、売上が増加しました。

その結果、ケミカルアンカー製品の売上高は350百万円（前年同中間期比103.8%）となりました。

これらの結果、その他の売上高も合わせて、建築材料事業セグメントの売上高は2,829百万円（前年同中間期比98.3%）となりました。

<不動産事業>

不動産事業は、堅調に推移したものの、一部テナントの退去があり、売上は減少しました。

その結果、不動産事業セグメントの売上高は199百万円（前年同中間期比98.3%）となりました。

全社の業績といたしましては、売上高は3,028百万円（前年同中間期比98.3%）、営業利益は318百万円（前年同中間期比93.2%）、経常利益は346百万円（前年同中間期比99.6%）、中間純利益は239百万円（前年同中間期比99.5%）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて151百万円減少し17,777百万円となりました。これは主に、有価証券及び投資有価証券が増加したものの、現金及び預金、電子記録債権が減少したこと等によるものです。負債は前事業年度末に比べて176百万円減少し2,157百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、その他の流動負債が減少したこと等によるものです。また、純資産は前事業年度末に比べて24百万円増加し15,620百万円となりました。これは主に、期末配当金を174百万円支払ったこと及びその他有価証券評価差額金が40百万円減少したものの、中間純利益を239百万円計上したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日の「2024年3月期 決算短信（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2024年3月31日) | 当中間会計期間 (2024年9月30日) |
|--------------|-----------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,317,984 | 3,597,740 |
| 受取手形及び売掛金 | 985,453 | 934,332 |
| 電子記録債権 | 1,038,857 | 926,789 |
| 有価証券 | — | 141,714 |
| 商品及び製品 | 404,815 | 412,875 |
| 仕掛品 | 74,894 | 71,855 |
| 原材料及び貯蔵品 | 568,528 | 610,668 |
| その他 | 63,748 | 136,271 |
| 流動資産合計 | 8,454,282 | 6,832,249 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 (純額) | 2,302,779 | 2,256,424 |
| 土地 | 5,099,587 | 5,099,587 |
| その他 (純額) | 504,930 | 495,067 |
| 有形固定資産合計 | 7,907,297 | 7,851,078 |
| 無形固定資産 | 49,299 | 42,710 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,208,786 | 2,724,992 |
| その他 | 309,594 | 326,531 |
| 投資その他の資産合計 | 1,518,380 | 3,051,524 |
| 固定資産合計 | 9,474,977 | 10,945,313 |
| 資産合計 | 17,929,260 | 17,777,562 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 331,820 | 288,608 |
| 電子記録債務 | 731,416 | 726,140 |
| 未払法人税等 | 95,072 | 122,791 |
| 引当金 | 54,251 | 81,104 |
| その他 | 408,721 | 255,353 |
| 流動負債合計 | 1,621,282 | 1,473,998 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 385,015 | 392,130 |
| その他 | 327,539 | 291,394 |
| 固定負債合計 | 712,554 | 683,524 |
| 負債合計 | 2,333,836 | 2,157,523 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,515,383 | 2,515,383 |
| 資本剰余金 | 2,305,533 | 2,305,533 |
| 利益剰余金 | 10,969,262 | 11,034,586 |
| 自己株式 | △483,363 | △483,363 |
| 株主資本合計 | 15,306,814 | 15,372,138 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 288,608 | 247,900 |
| 評価・換算差額等合計 | 288,608 | 247,900 |
| 純資産合計 | 15,595,423 | 15,620,039 |
| 負債純資産合計 | 17,929,260 | 17,777,562 |

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

| | 前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | 当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) |
|------------|--|--|
| 売上高 | 3,080,632 | 3,028,623 |
| 売上原価 | 2,089,595 | 2,068,221 |
| 売上総利益 | 991,037 | 960,402 |
| 販売費及び一般管理費 | 648,971 | 641,472 |
| 営業利益 | 342,066 | 318,929 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10 | 21,752 |
| 受取配当金 | 8,432 | 13,963 |
| その他 | 2,398 | 2,584 |
| 営業外収益合計 | 10,841 | 38,299 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 4,892 | 10,545 |
| 支払利息 | 1 | 15 |
| 営業外費用合計 | 4,894 | 10,560 |
| 経常利益 | 348,013 | 346,668 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 0 | 0 |
| 税引前中間純利益 | 348,013 | 346,668 |
| 法人税等 | 107,188 | 107,010 |
| 中間純利益 | 240,825 | 239,658 |

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(棚卸資産の評価方法の変更)

棚卸資産のうち、商品に係る評価方法は、従来、総平均法による原価法を採用していましたが、当中間会計期間より、移動平均法による原価法に変更しております。

この評価方法の変更は、資材価格の高騰による物価上昇等の経済状況の変化に対応し、より迅速かつ適正な期間損益計算を行うことを目的としたものであります。

なお、当該変更による影響額は軽微であり、遡及適用は行っておりません。

3. 補足情報

2025年3月期中間期決算短信参考資料

1. 2025年3月期中間期の業績

(1) 経営成績

(単位：千円)

| | 前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) | | 当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) | | 前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) | |
|--------------------|--|-----------------|--|-----------------|--|--------------|
| | 金額 | 前年同中間期 比 (%) | 金額 | 前年同中間期 比 (%) | 金額 | 前年同期比 (%) |
| 売上高 | 3,080,632 | 123.3 | 3,028,623 | 98.3 | 6,279,879 | 111.5 |
| 営業利益 | 342,066 | 193.3 | 318,929 | 93.2 | 690,736 | 164.8 |
| 経常利益 | 348,013 | 133.2 | 346,668 | 99.6 | 719,788 | 141.7 |
| 中間(当期)純利益 | 240,825 | 61.3 | 239,658 | 99.5 | 523,361 | 90.8 |
| 1株当たり中間 (当期)純利益 | 303円90銭 | | 302円44銭 | | 660円45銭 | |

(2) セグメント別売上高

| | 売上高 | | | コメント |
|------------|-------------|------------|------------|---|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 増減率 (%) | |
| 建築材料事業 | | | | |
| 化粧板製品 | 2,066 | 68.2 | △4.2 | <p>高圧メラミン化粧板は、在宅勤務からオフィス回帰の動きがあり、オフィス家具の需要が回復基調になったものの、物件減少によりトイレブース市場及び店舗市場向けの需要が減少したことにより、売上が減少しました。</p> <p>不燃メラミン化粧板は、原材料等の価格高騰の一部を販売価格に転嫁したものの、資材価格の高騰による新築住宅の着工件数及び住宅のキッチンリフォーム工事件数が減少したことにより、売上が減少しました。</p> |
| 電子部品業界向け製品 | 383 | 12.7 | 9.0 | <p>電子部品業界向け製品は、産業機器、パソコン及びスマートフォン向け等の需要が減少したものの、自動車の半導体不足や部品調達の遅れが解消傾向となり、車載関連の需要が一部回復したことにより、売上が増加しました。</p> |
| ケミカルアンカー製品 | 350 | 11.6 | 3.8 | <p>ケミカルアンカー製品は、建設コストの上昇傾向が継続しているものの、競合他社からの切替え及び建築分野での物件採用件数増加により、売上が増加しました。</p> |
| その他 | 27 | 0.9 | △5.9 | |
| 小計 | 2,829 | 93.4 | △1.7 | |
| 不動産事業 | 199 | 6.6 | △1.7 | <p>堅調に推移したものの、一部テナントの退去があり、売上は減少しました。</p> |
| 合計 | 3,028 | 100.0 | △1.7 | |

(3) 業績の説明

業績につきましては、売上原価率が68.3%と0.5ポイント悪化いたしました。また、販管比率が21.2%と0.1ポイント悪化した結果、営業利益率は10.5%と0.6ポイント悪化いたしました。

(4)設備について

工場の生産設備等に59百万円の投資を行いました。なお、当中間会計期間における減価償却費は133百万円でありま
す。

(5)配当金について

配当金につきましては、中間配当金として150円、期末配当金220円を予定しております。

(6)財政状況について

総資産17,777百万円、純資産15,620百万円、自己資本比率87.9%であります。

2. 通期の見通し

(1)経営成績予想

| | | | |
|-------|----------|--------|--------|
| 売上高 | 6,300百万円 | 対前期増減率 | 0.3%増 |
| 営業利益 | 600百万円 | 対前期増減率 | 13.1%減 |
| 経常利益 | 660百万円 | 対前期増減率 | 8.3%減 |
| 当期純利益 | 450百万円 | 対前期増減率 | 14.0%減 |

(2)セグメント別売上高

(単位：百万円)

| | 通期予想 | | |
|--------|-------|---------|---------|
| | 金額 | 構成比 (%) | 増減率 (%) |
| 建築材料事業 | 5,900 | 93.7 | 0.3 |
| 不動産事業 | 400 | 6.3 | 0.4 |
| 合計 | 6,300 | 100.0 | 0.3 |

(3)設備投資について

当下半期の設備投資は、主に工場の生産設備等に378百万円の投資を予定しております。
なお、通期の減価償却費として284百万円を予定しております。